

## (real) time と study tables

### 配置図

--

1F

--

検証 A: 「自宅から最寄駅までのルートを歩行・記録する」

a-1+a-2: <視点 a-1> と <視点 a-2> を一つの画面に納めた映像

a-3: 歩行時の記憶などについての音声記録書き起こしテキスト

a-4: 自宅から最寄駅までの俯瞰図

検証 B: 「街を歩いてリアルタイムとそうでないものを発見する」

検証 C: 「音と映像を分離させてリアルタイムの境界線を探る」

c-1: 映像「扉の開け閉め」

c-2: 映像「本が倒れる瞬間」

c-3: 映像「ペットボトルが階段から転がり倒れる」

c-4: 映像「ジャンケンの様子を撮影し、徐々にタイミングがずれていく様子を観察する」

--

2F

--

c-5: 映像「Skype の様子を撮影し、2つの視点を並べてみる」

検証 D: 「ギー・ドゥポール「シチュアシオニストの地図製作法

(漂流、心理地理学、状況、映画)」展視察

検証 E: 「小説を読んで現実との対応関係を考える」

e-1: 小説と現実の時空の同期関係をまとめたテキストと、

それを年表にマッピングし直したもの、そしてイメージマップ

